

1. 単元名 The Story of Sadako (New Crown English Series 3, Lesson 3)

2. 教科・題材における「やりくり」

本学年の生徒は、これまでに、主に自分自身や家族、友達など身近な話題について英語で話したり書いたりする経験を積んできた。昨年度は、「行きたい国」「将来の夢」「都道府県 PR」をテーマにしたスピーチを通して、聞き手を意識した話し方やスライドの工夫等について互いが学び合い、表現力を高めてきた。ただ、これまでは自分が興味のあることをスピーチとしてまとめることが多かったが、今後は物語を読んで感想を書いたり、誰かの意見に対しての自分の意見やその根拠を論理的に伝えたりすることが多くなる。その際、どうわかりやすく相手に伝えるか、これまでに学習した単語や表現、構成等を活用しながら試行錯誤することで、表現力がさらに高まってくると考える。英語を書くことに苦手意識がある生徒もあるが、すべての生徒が「やりくり」を重ね、できたときの達成感を味わえるような手立てを教師も工夫していかなければならない。

また、授業最初の Small Talk を行う中で、すでに学習した表現を使って英語でのやり取りを続けようと努力する生徒が増えてきた。現在は、ペアでのやり取りを1分間続けられる生徒は多いが、相手に質問したり、反対の理由を論理的に述べたりして、会話の質を高めるまでには至っていない。そこで、相づちやつなぎ言葉などの練習を積み重ね、相手が言うことにどう適切に反応し対話を続けるかというコミュニケーションにおける「やりくり」の力を身に付けさせたい。

(1) 教師と教材

本単元の内容は、広島が舞台となっており、Use Read には佐々木禎子さんの物語が掲載されている。また、原爆ドームや平和記念資料館等についても触れてあり、戦争と平和について改めて考えることができる単元である。生徒の中には広島を訪れたことはあっても、平和学習の経験をしたり、平和記念資料館を訪れたりしたことがある生徒は限られている。この学習を通し、平和な世の中にするために自分たちができることは何なのかを考えさせたい。そして、日本の文化や歴史に目を向け、自分の思いをしっかりとらせた生徒を育てたい。また、広島のお土産紹介のリスニング活動、Use Write のおすすめの本の紹介という活動もあり、広島についての知識を広げたり、自分の意見を英語で伝えたりすることもできる。言語材料では名詞を詳しく説明する現在分詞・過去分詞の後置修飾を扱っている。後置修飾は日本語にはあまり見られないため難しいと感じる生徒も多いため、語順を理解しやすいよう指導の工夫が必要である。この文法を学ぶことで1文の中で人や物を詳しく説明することができ、様々な表現活動を展開することができる。

(2) 子どもと教師

これまで生徒は、様々な言語活動を通して、自分自身や身の周りのことについて英語で表現する力を高めてきた。ペアやグループなどでの表現活動や音読練習にも積極的に取り組んでいる。また、相づちやつなぎ言葉を使いながらペアでの Small Talk にも楽しそうに取り組んでいる。また、特にタブレットを使用した授業では英語が苦手な生徒もすすんで授業に参加しており、デジタル教科書を使った音読練習、調べ活動やスライド作りに意欲的に取り組んでいる。しかし、語彙力や読解力など習熟度の差が目立ち、書く活動には自信がなく意欲的に取組めない生徒もいる。特に、まとまった英文を書く際に、自信がない様子が見られるため、自分の考えを整理し、構成を考えること、既習表現をどう生かしていくか考えながらまとめていくことに段階的に慣れていく必要がある。今後も言語活動を繰り返す過程で、できるだけ多くの友達と関わらせ、アドバイスをし合いながら表現力を高めていきたい。本単元の指導に当たっても、ペアやグループの友達に、理由を含めて意見を述べたり本の紹介文を書いたりする活動を通して、自分の言葉でわかりやすく伝える力を育てていきたい。

(3) 子どもと教材

本単元は、佐々木禎子さんの一生や、原爆の子の像にこめられた人々の願いを知ることを通し、命や平和の尊さについて考えさせる内容となっている。授業では、平和についての自分の考えを英語で表現し、友達と共有する場面を設定する予定である。また、単元の終わりには本の紹介文を書く活動も設定されている。ここでは、本のあらすじを簡潔にまとめたり、おすすめの理由をわかりやすく説明する力も必要とされる。

そこで指導にあたっては、英語が苦手な生徒でも取り組みやすい表現活動を数種類仕組み、段階を踏んで丁寧に指導したい。スピーチは、「おすすめの鳥取土産」というテーマの後、「日本にホームステイに来る外国人中学生」と相手を具体的に設定した上で、相手に合った「おすすめの夏の体験」について考えさせる。その際、タブレット端末を利用してスピーチの様子を友達同士で撮影させ、録画された自分の発表を見ることで、自分の発表のよいところや課題点に気づかせたい。また、「おすすめの本紹介」という Writing 活動では、既習の様々な表現を用いて、友達と相互に協力し合いながら、よりよい構成や表現を目指す「やりくり」の過程を大切にしたい。相互評価を取り入れることで、生徒が主体的に活動し、改善策を探りながらよりよい発表を目指す努力をすると考える。単元を通して生徒の表現力を高め、自分の考えを英語で伝えることに自信をもたせたい。

3. 単元の見どころ

- ペアや班で発表についてアドバイスをし合い、それを生かして自分の発表をよりよくしようと努力している。(主体的に学習に取り組む態度)
- おすすめの活動や本を紹介するために、特徴やおすすめの理由について自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることができる。(思考力・判断力・表現力)

○現在分詞・過去分詞の後置修飾の文の形・意味・用法を理解し、それを含む文を正確に書くことができる。(知識・技能)

○広島についての説明や佐々木貞子さんについての文章を読み、必要な情報や要点を読みとることができる。(技能)

4. 学習計画(全13時間)

第1時	・現在分詞の後置修飾の文構造を理解する ・ペアやグループで現在分詞の後置修飾が使われた文を練習する	・・・1時間
第2時	・現在分詞の後置修飾を含む教科書本文の内容を理解する	・・・1時間
第3時	・過去分詞の後置修飾の文構造を理解する ・ペアやグループで過去分詞の後置修飾が使われた文を練習する	・・・1時間
第4時	・過去分詞の後置修飾を含む教科書本文の内容を理解する	・・・1時間
第5時	・県外の人に鳥取のお土産を紹介する文章を書いて発表する	・・・2時間
第6時	・日本にくる外国人に夏の体験を紹介する文章を書いて発表する	・・・2時間(本時2/2)
第7時	・USE Write 本の情報やおすすめの理由について、まとまりのある文章を書く	・・・2時間
第8時	・Read 佐々木貞子さんについて書かれた物語を読んで、概要を捉える	・・・1時間
第9時	・Take Action 話題を変えたり、確かめたりする表現を学ぶ	・・・1時間
第10時	・Get Plus 1 「～して嬉しい」という表現を用いて、過去の出来事について友達に伝える	・・・1時間

5. 本時の学習

(1) 本時の目標

・ペアや班でのアドバイスをもとに、自分の発表をよりよくしようと努力している。

【主体的に学習に取り組む態度】

・日本でのおすすめの夏の体験について、既習の表現を用いながら、相手にわかりやすく説明することができる。

【思考力・判断力・表現力】

(2) 期待される生徒の様相

A) 原稿をほとんど見ず、アイコンタクトや話し方等を工夫して、聞き手を意識したわかりやすいスピーチをすることができる。また、班やペアの友達との相互評価を生かし、積極的に練習に取り組むことができる。

B) 時々原稿を見ているが、既習の文法や表現を用い、聞き手を意識しながらスピーチをすることができる。また、班やペアの友達との相互評価を生かし、個人練習に取り組むことができる。

C) スピーチをする際、ほとんど原稿を見て話しており、声が小さい。また、班やペアの友達の評価を練習に生かすことができていない。

(3)本時における「やりくり」


- ・外国からくる中学生にどんな日本の体験をすすめたいか、話し方に工夫しながらスピーチさせたい。既習表現を用いながら、いかに魅力的に体験をアピールするかに期待したい。
- ・ペアや班の友達のスピーチを聞くことを通して、わかりやすく伝えるにはどのような話し方がいいのかを考えさせたい。友達の評価や録画された自分のスピーチを見て、修正し、改善しようと努力する姿に期待したい。

(4) 本時の展開 (○教師の意図 ◇全体への支援 ◆個への支援 ※評価)

学習活動	教師の支援・意図・評価
<p>1 あいさつと Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末のおすすめの活動というテーマで、small talk を行う。 <p>2 本時の目標の確認。</p>	<p>○楽しく会話できる雰囲気をつくる。</p> <p>○受け身形や後置修飾など、その後の発表に使える表現を意識的に使うようにさせたい。</p> <p>◆やり取りが進まないペアには机間指導を行い、つなぎ言葉や相づちを用いて会話を続けるように促す。</p> <p>◇本時のめあてと学習の流れについて提示し、見通しを持たせたい。</p>
<p>オーストラリアからホームステイに来る中学生に、日本の夏のおすすめ体験を提案しよう！</p>	
<p>3. 班で発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班でおすすめ体験を紹介する発表を行い、タブレットで録画し合う。 <p>4. 全体共有</p> <p>班の代表者による発表</p>	<p>○なるべく原稿から目を離して発表することを確認する。</p> <p>◇スピーチをするときのポイントは、スライドで映しておく。</p> <p>◇友達の発表を録画、評価し、コメントと共に評価カードに記入させる。</p> <p>○相互評価を通して、友達の発表の良さや自分の発表の改善点に気づかせたい。(声の大きさ、内容、話しぶりなど)</p> <p>※おすすめ夏体験について、既習の表現を用いながら、相手にわかりやすく説明することができるか。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○友達の発表を通して、どのような内容や話しぶりが伝わりやすいのかを共有させる。</p>

<p>5. 個々で改善策を考え、練習する。</p> <p>6. ペアで2回目の発表をする。 1回目の発表と比較し、評価し合う。</p> <p>7. 振り返りとまとめ 自己評価シートに、振り返りを書く。</p>	<p>◆発表が苦手な生徒にもわかりやすいよう、代表者による発表でよかった点や改善点を確認しながら全体共有する。</p> <p>○どうすれば相手に伝わりやすいのかを意識し、発表がよりよくなる方法を考えながら、練習させたい。</p> <p>※ペアや班でアドバイスをもとに、自分の発表をよりよくしようと努力している。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○ペアで助言し合うように声かけをする。</p> <p>◇1回目と比べて相手の発表がどのように良くなったのかを具体的に伝えさせたい。</p> <p>○自己評価を通して、発表における成長した部分を実感させたい。</p> <p>○今後学びたいことや、発表においてできるようになりたいことを目標として書かせたい。</p>
--	--

6 板書計画

<p>Saturday、 July 2</p>		
<p>Today's Goal オーストラリアから日本に来る中学生に、夏のおすすめ体験を提案しよう！</p>		
<p>発表の Point</p>		<p>授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ② ③ ④ ⑤